

新病院建設
経過報告

現在、新病院建設は第二期工事の基礎工事が進められています。いよいよ 8 月からは鉄骨が組まれる予定となっています。

第二期工事の完成は 11 月末までを予定しています。完成する新西病棟には、1 階に救急部門、2 階から 4 階までは内科・小児科の病棟として一部運用を開始する予定になっています。新病棟の運用は 12 月中旬からを予定しています。

ここ近年の城北病院への救急搬送数は、2015 年度が 1805 件、2016 年度が 1893 件と増加しています。そん

ピースフェスタ(平和盆踊り)を
開催しました

城北病院・診療所では、金沢北健康友の会と共催で、毎年 8 月の第一土曜日に「ピースフェスタ」を開催しています。

今年は、8 月 5 日(土)午後 6 時より、地域の皆様や入院患者様やご家族様、職員など総勢約 700 人の参加で盛大に執り行なわれました。

「平和」を願う企画として、1 年目の事務職員が「憲法 9 条」について学んだことを発表したり、原水爆禁止



な救急への期待に応える新しい救急部門の立ち上げにあたり、プロジェクトチームを発足し、救急病棟の運用について、ベットサイドモニター等の医療機器の選択、職員動線や患者動線を考慮した図面や医療機器等の配置、壁紙や床材といった細かいところまで議論しています。

12 月中旬には、救急病棟 5 床と救急外来が運用を予定しています。救急外来はこれまでと変わらず、24 時間 365 日、いつでもだれもが安心して診察に来ていただけるよう、患者様のニーズに応じた医療を提供していきます。



世界大会に参加する職員からの決意表明を行いました。参加された皆様は「平和」について学びつつ、大きな踊りの輪の中で盆踊りや模擬店を楽しみました。

10月15日には病院創設 60 周年を記念し「健康まつり」を予定しております。皆様方の参加をお待ちしております。

私たちが
めざすもの

- 1 患者の立場に立ち、インフォームドコンセントを大切にします。
- 2 専門的な力量向上に努め、安全安心の医療・福祉の提供をすすめます。
- 3 すべての人々の健康づくりを支援し、安心して住み続けられるまちづくりに努めます。
- 4 人権を守り無差別・平等の医療・福祉をめざします。

医療福祉宣言

城北病院 城北診療所 2015

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://johoku-hosp.com
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

JO-HOKU No. 46

2017.9.1 summer



城北病院 事務長
西村 昭郎

「熱中症予防」地域訪問を行いました

皆様には日頃から大変お世話になっております。

当院では、7 月に病院近隣地域の熱中症訪問を行いました。この取り組みは、ちょうど私が事務長に就任した 2012 年から実施するようになり、毎夏の恒例行事となっています。当日は職員と地元地域の方も含めて総勢 62 名が参加しました。2 人 1 組で熱中症予防を啓発するチラシとペットボトルの水を持って 120 軒のお宅を訪問し 63 軒の方とお話することができました。対話では「丈夫です、ありがとう。友人も熱中症で倒れた。自分も気をつけています」という方や「暑いのにわざわざありがとう」と逆に職員の体調を心配してくれる方もおいでました。職員からは「暑い日が続く中、元気に過ごされている様子を見ることができたのでよかった」「外を歩いていても熱中症になりそうでした。高齢の方は、一層気をつける必要あると思いました」「暑さに負けずに元気で生活してほしいと思います」等の感想が出されました。

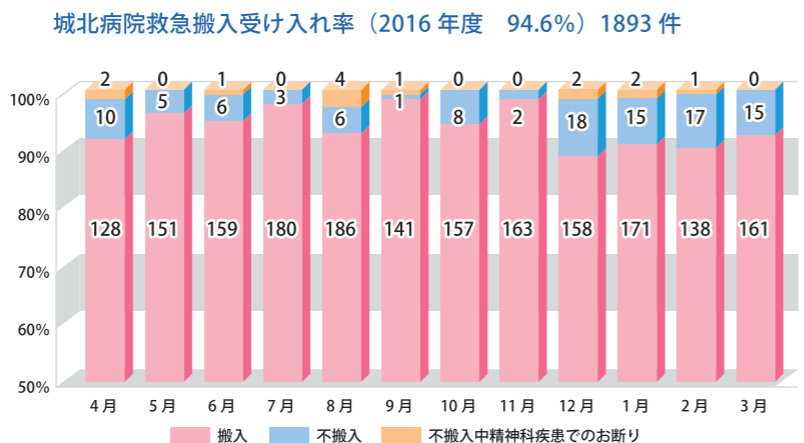
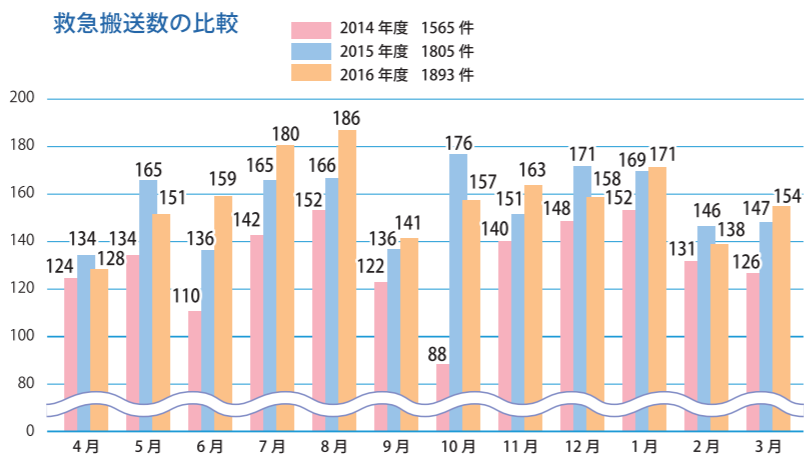
現在、新病院建設工事第 2 期工事に入っております。あと 3 年足らずでフルオープン予定ですが、建物は新しくなっても 60 年間、現在地で地域の方とともに歩んできた歴史はしっかりと引き継いでいきたいと考えております。工期中は連携上ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。



救急外来の取り組み紹介
城北病院



救急外来・救急病棟棟長
嶋本 香



はじめに

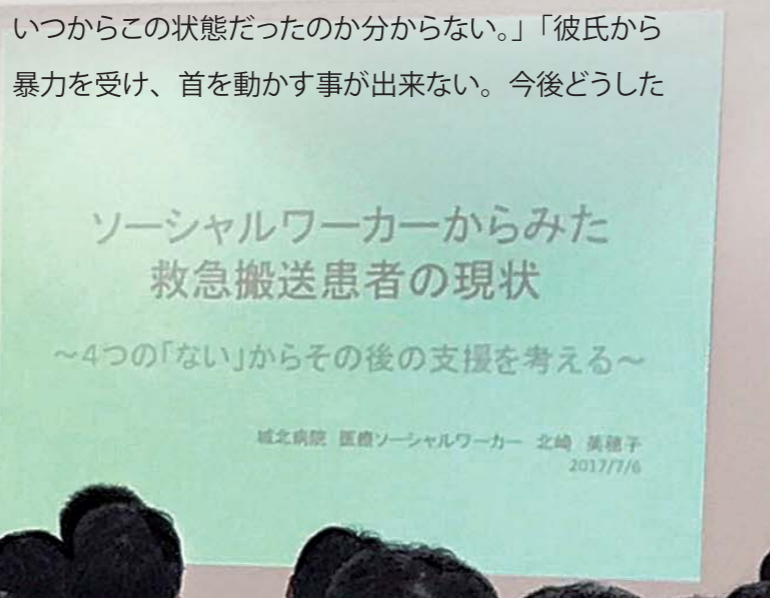
城北病院救急外来は 365 日 24 時間、患者様の診察と救急搬送受け入れを行っています。情勢と地域のニーズにお応えできるよう、チーム医療の連携を強くし、いつでも誰もが安心して受診できる救急外来づくりを目指しています。

救急搬送の実態

城北病院救急外来は、年々救急搬送件数が増加しています。2016年度は1893件、2015年度に比較し、4.8%増加となりました。救急搬送される患者様の状況には、DV、貧困、未受診であり重篤、高齢独居、

精神疾患等の問題を抱えているケースが多々確認できます。看護師は患者様の生活背景や社会的環境が要因にあげられているかにアンテナを高くし、いち早く医療ソーシャルワーカーにつなげることにしています。

「お金がなく、病院に受診する事が出来ずにいた。おかしいなと思ったのは1年前から。1か月前からは苦しくて動く事も食べる事も出来なかった。」「仕事でうまくいかず、どうしようもなく死のうと思った。」「民生委員が様子を見に行くと、玄関に倒れたままだった。いつからこの状態だったのか分からない。」「彼氏から暴力を受け、首を動かす事が出来ない。今後どうした



らよいのかも分からない。」など様々な問題に直面します。救急搬入時より、患者様にとっての最善を考え、急性期治療と並行して患者様を取り巻く環境に何らかの要因がある場合は早期に介入できるように、対応しています。

消防局との連携

2015年より、金沢市消防局との症例検討会を年1回行っています。城北病院に搬送される特徴的なケース、困難を期したケースについて検討を深め、双方のクオリティを高めるいい機会としています。金沢のおもてなしを大切に外国人対応アプリ、精神身体合併症の為複数回搬送困難であった事例と現状を取り巻くデータ、生活困窮が明らかであった症例、アレルギーに関する症例等、救急搬送時、その後の経過を含めたディスカッションを行っています。今年度は「生活保護」についての学習会を行い、日頃学習できない内容であった事、必要な知識を深めたと好評を頂きました。



新病院にむけて

2020年、城北病院はリニューアルし、新病院オープンとなります。城北病院救急外来に求められる医療は、今より更に情勢が厳しくなるにつれ、深刻な生活背景を抱える方が増加する事も予測した医療連携、地域連携が必要と思われます。今後、変わりゆく環境と、変わらぬ志を合わせ、地域の皆様と共に発展していきたいと思っています。

医療福祉連携相談室のご紹介

城北病院医療福祉連携相談室は、斎藤副院長、野村副院長以下、看護師3名・医療ソーシャルワーカー6名・事務2名で構成しています。

看護師 ベッドコントロール、退院支援を担っています。緊急の入院相談や退院支援に関する相談は、医療福祉連携相談室看護師までご連絡ください。

医療ソーシャルワーカー 回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟への入院相談、患者・家族等の生活相談等を担当しています。退院支援看護師と共に、各病棟の退院支援も行っています。無料低額診療事業(*1)の相談窓口も担当していますので、お気軽にご連絡ください。

*1：無料低額診療事業とは
経済的な理由により必要な医療を受ける機会が制限されないことがないよう、無料または低額な料金で診療を行うものです。社会福祉法に規定されており、城北病院・診療所は金沢市より認可を受けています。



事務 紹介患者様、逆紹介患者様の予約や診療情報提供書等に関する連絡窓口です。石川情報共有ネットワークに関する実務も担当しております。紹介等に関するご不明な点等は、医療福祉連携相談室事務までお問い合わせください。